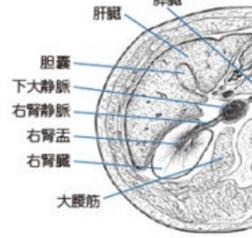


第8刷以降訂正(2020年3月16日公開分)

上巻		
頁	誤り	正
54頁 上から2行目	社会保障給付費の国民所得比を国民負担率というが、…	租税負担率と社会保障負担率の合計を国民負担率というが、…
79頁 下から7行目	…耳介の前方に前側頭動脈を触れることが	…耳介の前方に浅側頭動脈を触れることが
84頁 図Ⅱ-1-22「背部・腰部の主な筋」	右上の「僧帽筋の隆起」「三角筋」の位置	
107頁「脳血流の調整」6～8行目	しかしながら、正常の脳においても脳灌流圧が自動調節能の範囲を超える200mmHg以上になったり、40mmHg以下になると、脳血流は脳灌流圧に依存するようになる。	通常50～150mmHgの範囲である。
114頁 図Ⅱ-1-55「皮膚感覚器(受容器)の構造」右上の引き出し文字	クラウゼ小柱(冷覚)	クラウゼ小体(冷覚)
127頁 「2.循環系の役割」2～4行目	…肺循環は二酸化炭素を肺で放出し、ヘモグロビンを再度酸素化する。また、末梢からの代謝産物を運び出して、肝臓や腎臓に送る。	…また、末梢からの代謝産物を運び出して、肝臓や腎臓に送る。肺循環は二酸化炭素を肺で放出し、ヘモグロビンを再度酸素化する。 (2行目「肺循環は…」の文章と3行目「また、末梢からの…」の文章を入れ替え)
140頁 上から15～17行目	…このアルドステロンの働きによって、腎集合管での再吸収を促進し…	…このアルドステロンが腎集合管に作用してナトリウムと水の排出を減らし…
147頁 1行目	このほか、ムチンが分泌され、…	このほか、内因子が分泌され、…
157頁 図Ⅱ-1-97「腎臓の位置関係(体感の水平断面)」図の左下	①左下「腸腰筋」 ②左下「大腰筋」とそれを指す引き出し線	①「大腰筋」 ②すべて削除 
188頁 「1.骨」1行目	…、短骨(椎骨、足根骨など)、…	…、短骨(足根骨など)、…(「椎骨、」を削除)
247頁 「2.心奇形」3行目	…心房中隔欠損は心房に穴があいているもの…	…心房中隔欠損は心房中隔に穴があいているもの…
248頁 「6.フェニルケトン尿症」3行目	この酵素が欠損しているとフェニルケトンが体内に蓄積し、ネズミ臭い尿として排泄されるようになる。	この酵素が欠損しているとフェニルアラニンが体内に蓄積し、ネズミ尿臭のあるフェニルケトン体として尿中に排泄されるようになる。
279頁 上から11行目	心電図、肺機能検査、動脈血液ガス検査など…	心電図、肺機能検査など…(「動脈血液ガス検査」を削除)
281頁 「7.超音波検査」4行目	腹部では占居性病変や結石、…	腹部では占拠性病変や結石、…
305頁 下から1行目	…研修・訓練の実施、⑤災害医療に関する普及啓	…研修・訓練の実施、⑧災害医療に関する普及啓
383頁 下から10行目	…一類感染症または二類感染に該当する…	…一類感染症または二類感染症に該当する…
405頁 下から14行目	…少しでも軽減するために、息、口笛を…	…少しでも軽減するために、口笛を…(「息、」を削除)
428頁 下から3行目	…脳卒中者傷病者に対して、…	…脳卒中者傷病者に対して、…(「対に」を削除)
438頁 「5.評価」4行目	…SpO ₂ が90%以下になるとPaO ₂ は急激に低下する。	…SpO ₂ は90%以下になると急激に低下する。(「PaO ₂ は」を削除)
542頁 上から14行目	新生時	新生児
562頁 上から13行目	チアノーゼ、呼吸停止、酸素供給量とは関係なく、…	チアノーゼ、呼吸停止などがみられたら、酸素供給量とは関係なく、…
索引2頁 「A」7番目ADH	ADH 75, 158, 171, 608, 945, 946	ADH 158, 171, 608, 945, 946(「75、」を削除)
下巻		
頁	誤り	正
742頁 上から18行目	…患側の胸郭運動は減弱し…	…患側の胸郭運動は減弱し…
765頁 上から18行目	しかし、平均動脈圧が160mmHgを超えると…	しかし、平均動脈圧が150mmHgを超えると…
815頁 下から6行目	…中枢神経機能を起こすと…	…中枢神経機能を侵すと…
871頁 上から8行目	…生存者しても重篤な神経障害を残すとされている。	…生存しても重篤な神経障害を残すとされている。(「者」を削除)

第8刷以降訂正(2020年3月23日公開分)

上巻		
頁	誤り	正
418頁 下から6行目	…毛様充血は急性緑内障や角膜、強膜、ぶどう膜の炎症で見られるもので…	…毛様充血は急性緑内障や強膜、ぶどう膜の炎症で見られるもので…(「角膜、」を削除)
下巻		
頁	誤り	正
840頁 「4」結膜充血」2行目	…結膜の周辺部の強い充血は角膜炎、結膜炎などでみられる。	…結膜の周辺部の強い充血は結膜炎などでみられる。(「角膜炎、」を削除)
974頁 上から5行目	頸椎損傷が疑われる場合には頭部を15°程度挙上してもよい。	頸椎損傷を否定できる場合場合には頭部を15°程度挙上してもよい。
1012頁 下から6行目	…上腕に生じた場合には、ちょうど手袋(グローブ)が脱げたような形態となる。	…前腕などに生じた場合には、ちょうど手袋(グローブ)が脱げたような形態となる。